

■ 2021年度 年報



2022年 3月

公益財団法人群馬県産業支援機構上海代表処
(群馬県上海事務所)

■沿革

群馬県では、「観光誘客の促進」「農畜産物等の販路拡大」「企業のビジネス展開支援」を三本柱として、2012（平成24）年3月、「東アジアの活力を取り込むための経済戦略」として群馬県国際戦略を策定し、2013（平成25）年4月、戦略推進のための海外拠点として上海事務所を設置した。当事務所は、中国（香港・マカオを含む）において本県経済の地位を高めるため、観光誘客、県産品販路拡大、県内企業のビジネス展開支援、本県情報の発信の4つを主な業務として活動を開始した。2014（平成26）年度から、要請があった場合には、台湾においても、観光プロモーションや旅行会社訪問、物産展出版や商談会参加等を行うようになった。

2020（令和2）年12月、新型コロナウイルス感染症の影響により、外交の基礎となる海外との往来が制限される中、これまでの国際戦略に基づく取組が困難になったことから、ニューノーマルの世界の中で、ハイレベルな人脈構築を目指す「地域外交の基本方針」を踏まえ、事務所運営方針の転換を図ることとなった。具体的には、①世界を見据えた上海市との関係強化、②ハイレベルな人脈構築、③新たな富を生み出すチャンスを掴む の3つのミッションが与えられた。

■活動状況

I 事務所利用状況

内 容	件 数	備 考
訪問件数	1 6 1	小売業者、旅行会社、県内企業 他
来所件数	1 2 0	県内企業、地方政府 他
（利用人数）	（4 5 1）	

Ⅱ 業務別の状況

1 新たな取組方針に基づく3つのミッション

(1) 現状

新たな3つのミッションを達成するために、①上海市外事弁公室との信頼関係構築 ②あらゆる機会をとらえた多方面での人脈形成 ③関係機関との連携 を推進している。

○ 活動の重点方針

2021 年度は主に、上海市との関係強化及び友好交流事業のテーマ検討、中国高等教育機関との関係づくり、多方面での人脈形成及び情報収集等に取り組んだ。

(2) 個別的な業務内容

① 世界を見据えた上海市との関係強化

■上海市へのアプローチ

上海市外事弁公室主催の各種行事に積極的に参加するとともに、同室と友好交流事業のテーマの検討を重ねた。

その結果、まずは上海市の崇明島と本県の尾瀬について、その保全と活用をテーマとした自然環境に関する交流から始めることとなった。



上海市外事弁公室の案内による崇明島視察

■中国高等教育機関との関係強化

あらゆる機会をとらえて大学関係者等との人脈づくりを行った結果、復旦大学や上海交通大学等の高等教育機関と、今後関係を構築していく足掛かりを得ることができた。

3月には、貴州大学と群馬大学が、ビッグデータ分野における交流開始に向けて第1回のオンライン交流を行い、今後の具体的な交流について話し合った。

② ハイレベルな人脈構築

■調査研究

市・省委トップ3について、昨年度に引き続き調査・研究を行った。またそのうち、今後中央政府での活躍が期待される人物について、情報収集を行った。

③ 新たな富を生み出すチャンスを掴む

■県内企業との連携

県内企業及び地元地銀と情報交換を行った（後述）。

■他自治体との連携

7月、上海有数のオフィス集積ビル「上海環球金融中心」で開予備催されたイベント「夏日祭」に他の自治体と連携して参加し、本県観光地のPR及び県内企業商品の販売を行って認知度向上を図った。

■情報収集発信

上海を中心とした中国のトレンド等を県職員向けに伝えるための「上海・中国流行報告」（第2～5号）を発行した。

また、（一財）自治体国際化協会北京事務所やJNTO上海の情報発信事業を活用して、本県の魅力をPRした。

さらには、ぐんまちゃんアニメが10月に日本で公開されるのに先立ち、テレビや動画配信業界の関係者から現地の最新情報を収集した。

（3）今後に向けた課題と方策

友好交流事業を軌道にのせながら上海市との関係強化を継続するとともに、トップ外交の準備を進める。引き続き、地域外交課と密に連携しながら進めていく。

2 観光誘客の推進

（1）現状

中国からの訪日外客数は2019年まで順調に増加を続け過去最高を記録したものの2020年以降は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により激減している。

【中国人訪日外客数（ビジネス客／親族訪問客等含む）】（JNTO）（人）

年	2021	2020	2019	2018	2017	2016
客年計	42,239	1,069,256	9,594,394	8,380,034	7,355,818	6,373,564

【群馬県への中国人宿泊者数】（観光庁 宿泊旅行統計）（人）

	2021 （速報値）	2020	2019	2018	2017	2016
年計	2,630	9,810	36,950	32,370	24,590	22,540

日本政府観光局(JNTO)によると、2021年の訪日外客数は前年比94%減の24万6千人だった。海外渡航制限の措置が継続され、さらに11月以降はオミクロン株のまん延に伴って規制が強化されたことが要因とされている。

中国からの訪日については、2022年3月現在観光目的以外の入国のみ受け入れており、また2020年4月21日以降、中国政府外交部より海外旅行自粛の指示が出されていることから、観光客の渡航は不可能な状況が続いている。

JNTOではこのような状況を踏まえ、2021年度も引き続き、旅行会社との関係維持、日本への関心維持のための情報発信強化に取り組んでいる。

○ 活動の重点方針

2021年度は、①感染収束後の旅行の行先として本県を選んでいただけるよう各種イベントに出展する、②SNSにより知名度・認知度を向上させる、③旅行会社との関係を維持する、との方針で取り組んだ。

(2) 個別的な業務内容

①観光イベントへの出展等

日本をテーマにした各種イベント等に出展(主催を含む)し、一般旅行者へ向けて本県の観光PRを行った。

新型コロナウイルスの感染状況により中止・延期となる場合があり、また上海市外に移動することができない時期もあるなど制約が多い中で、可能な範囲で出展するよう努めた。

- ・「長寧ラッフルズ『子供の日』バザール」(5月 上海市)
- ・「上海環球金融中心『夏日祭』」(7月 上海市)
- ・「ジャパnbrランド武漢」(8月 武漢市) <延期>
- ・「2021年国際冬季運動(北京)博覧会(WWSE)」(9月 北京市)
- ・「成都ジャパnbrランド」(9月 成都市)
- ・「日本商品展覧会」(9月 大連市)
- ・「APITA 7周年祭」(10月 上海市)
- ・「青島ジャパnデイ」(10月 青島市)
- ・「2021蘇州相城黃橋中日文化節秋日祭」(10月 蘇州市)
- ・「群馬スキー場PRイベント@SNOW51」(11月 上海市)
- ・「ジャパnbrランド武漢」(11月 武漢市) <キャンセル>
- ・「上海虹橋品匯日本館・日中国交正常化50周年イベント」(12月 上海市) <延期>
- ・「JNTO 伝統文化プロモーション事業」(2月 南京市)



「青島ジャパンデイ」でのブース出展

②SNS による情報発信

中国人が情報収集に多用している微博（ウェイボ）、微信（ウェイシン／ウィチャット）という SNS により観光情報の提供を積極的に行った。

③旅行会社との関係維持

新型コロナウイルスの影響により具体的な誘客促進活動は困難な状況が続いているが、さまざまな機会をとらえて、新たな旅行会社との関係構築に努めた。

【観光誘客活動実績】

内 容	件 数	備 考
事業所等訪問件数	33	
〃 来所件数	37	
観光展等出展件数	9	
ツアー造成件数	0	
ぐんまちゃん 活動延べ日数	2	

（３）今後に向けた課題と方策

①ツアー造成について

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、インバウンドの取組は控えざるを得ない状況が続いている。

②2022 年度に向けた考え方

- ・新型コロナウイルス感染症が終息し次第、県内事業者にも呼び掛け、プロモーション活動を再開する。
- ・中国の旅行会社との関係を維持するため、可能な限り訪問、情報交換を継続的

に実施する。

- ・本県の知名度を向上させるため、観光展示会に引き続き出展する。
- ・東京からの近さを武器に、「温泉王国・スキー天国」を前面に出しつつ、大自然、体験型アクティビティなど、群馬の魅力を訴える。
- ・ぐんまちゃんを活用しつつ、SNSにより、楽しく知名度を上げる取り組みを更に強化する。

3 県産品販路拡大

(1) 現状

- ・中国では、急速に増加する富裕層や中間層が、自家用車やマンションを所有し、海外旅行へも気軽に行き、高級レストランで食事するなど、高品質の物やサービスが選択されるようになってきている。
- ・「健康」、「安全」が中国における消費のキーワードとなっていることや、日本を訪れた若年女性からの支持により、日本製の化粧品、薬などへの人気が根付いている。
- ・最近では、自分の生活の「中身」を充実させたいという若い世代の需要に応え、ブックカフェやおしゃれな雑貨・文具などを扱うセレクトショップ等が増加しつつあり、生活雑貨・文具類にも商機が生まれている。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、海外旅行は困難になったものの、日本製品など高品質なものを求めようとする傾向は変わっていない。

(2) 個別的な業務内容

①現地企業の紹介

県内事業者へ取扱商品に関心のありそうな現地商社・店舗を紹介した。

特に今年度は、経済成長著しい重慶市にある「伝統工芸青山 SQUARE 中国・重慶店」における桐生織の販売の商談がまとまるなど、あらたな販路開拓の取組が奏功した。

また、中国輸出に関心のある県内事業者を対象として、群馬銀行上海駐在員事務所と合同で「中国における販路開拓セミナー」をオンライン開催した。



「伝統工芸青山 SQUARE 中国・重慶店」でのプロモーションイベント

②物産展等への出展支援

現地の商業施設等で開催される関連イベントへの出展支援を行い、群馬県産品等をPRした。

- ・「上海環球金融中心『夏日祭』」（7月 上海市）

③常設商品展示コーナーへの出展支援

現地のデパート等に設けられた常設商品展示コーナーへの出展支援を行い、群馬県産品等をPRした。

- ・「上海マート 日本商品中心」（お香、文房具）
- ・「伊勢丹 FIND JAPAN コーナー」（お香、文房具、桐生織）

【県産品販路拡大活動実績】

内 容	件 数	備 考
事業所等訪問件数	4 1	貿易、小売等企業関係者
〃 来所件数	2 1	
物産展等出展	1	
商談件数	2	県内進出企業、県内企業
照会件数	4 0	
取引に結びついた件数	2	

（３）今後に向けた課題と方策

- ・本県食品の輸入禁止措置について、台湾は2月に解除されたものの、中国本土については未だ見通しが立っていない。解除後にすぐに対応をとれるよう、情報収集と事業者との関係づくりを継続する。

4 県内企業のビジネス展開支援

（１）現状

- ・本県製造業はほとんどが部品や素材であるため、中国進出に際してはあらかじめ主要取引先が決まっている場合が多いが、進出後新たに販路開拓をする例も多く見られる。
- ・2015年に「中国製造 2025」が国務院から発表され、国内のみならず世界からも注目されている。省エネ、自動車や産業用ロボット等10分野の発展を促すことにより、2025年までにこれまでの「製造大国」から、技術力や開発力を伴う「製造強国」にモデルチェンジする構想で、イノベーション能力の向上・製造業と情報技術の融合・品質とブランド力の強化——などの実現を目標に掲げ、中国の製造業は当該分野については日本も含めた世界の先進企業との連携を模索しており、本県製造業においてもこの潮流を注視し、合作や技術提携などのビジネスチャンスを探る必要がある。
- ・新型コロナウイルス感染症感染拡大の経済への影響については、当初中国国内にお

いては短期的な打撃で終わったものの、新たなオミクロン株の出現により市中感染が拡大しており、先行きが不透明な状況となっている。

(2) 個別的な業務内容

①県内からの進出企業の直接支援

弁護士紹介依頼に対応した。

②県内からの進出企業との意見交換

中国へ進出している県内企業や地方銀行と中国でのビジネス活動の概要、課題等について意見交換した。

③中国企業の紹介

特になし。

④縦三県（新潟・群馬・埼玉）連携事業

JETRO 上海事務所長を講師に招き、三県内の事業者を対象に「中国経済の現状と新型コロナウイルス感染症の影響かにおける販路開拓について」と題した講演会（オンライン）を実施した。

⑤群馬県人会での情報交換

群馬県人会（上州からっ風会）において、県内企業関係者、県出身者等と情報交換を行った。

【ビジネス展開支援活動実績】

内 容	件 数	備 考
事業所等訪問件数	15	県内進出企業、県内企業、関連企業
〃 来所件数	11	
相談・情報提供件数		
県等からの案件	2	
企業からの直接案件	10	
商談件数		
県等からの案件	0	
企業からの直接案件	0	
取引に結びついた件数	0	

(3) 今後に向けた課題と方策

中国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響で大きな影響を受けたものの、一旦

は急速に回復した。しかしその後、新たなオミクロン株の出現により市中感染が再び拡大しており、先行きは依然として不透明な状況が続いている。

このことを踏まえつつ、引き続き現地ネットワークを活かして、法律、会計、人材確保等、適切な情報提供及び支援をしていく。

5 本県情報の発信

- ・中国人はビジネスや情報収集のほとんど全てをスマートフォンで行っている。中国国内では公共の場で Wi-Fi 環境整備が進み、空港、駅、ショッピングモールや飲食店の多くで接続することが可能で、地域によっては路線バスやタクシー内においても Wi-Fi に接続できる。スマートフォンを利用した国民のウェブ活用度は日本よりもはるかに高い。
- ・媒体としては、中国独自の SNS である微博（ウェイボ）や微信（ウェイシン／ウィチャット）の利用者が多いことから、微博、微信を活用して頻繁に読者が興味を引きそうな情報を発信するとともに、フォロワー数を増やすため、プレゼントキャンペーンやイベント時の登録呼びかけ等を実施した。

その結果、ともにフォロワー数を増やすことに成功したが、微信についてはその後のフォロワー離れも見られることから、継続的なフォロワー増加策を検討する必要がある。

【情報発信活動実績】

内 容	件 数	備 考
事務所ウェブサイト更新数	8	
微博更新数	4 4 7	
微信更新数	2 8	
ウェブサイトアクセス数	1 8 3, 9 6 3	年間合計
微博ファン数	5 8, 7 9 1	前年比＋ 1, 2 2 6
微信ファン数	8, 2 6 2	前年比＋ 1, 0 8 6
その他情報発信回数	3	
マスメディア等への露出回数	0	

6 友好交流事業等

（１）中国地方政府との交流推進

当所と戦略協議覚書を締結している蘇州市相城区の関連諸行事に、積極的に参加した。

（２）民間団体との交流推進

学生や大学教授として日本への留学経験がある中国人の親睦団体「一期一会の会」や、「南翔中日早朝文化活動」等に参加し、本県の PR をして交流を深めた。

いずれの活動においても、教育や医療、食品流通、旅行業などに携わる参加者と

新たな関係づくりができ、事務所の他の活動にとっても有益な結果となっている。



「一期一会の会」には赤松大使も参加

■事務所概要

名 称 群馬県上海事務所

(登記上の正式名称：日本公益財団法人 群馬県産業支援機構上海代表処)

住 所 〒200336

上海市長寧区延安西路 2201 号 上海国際貿易中心 2410 室 67 m²

TEL+86-21-5290-6218 FAX+86-21-5290-6905

e-mail gunma.pref@gunmash.cn

職 員 3 名（日本人 2 名、中国人 1 名）

所 長 土橋 徹

副所長 鎗木 あゆみ

秘 書 雛 艶苗

